

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	言語発達障害Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 月曜2,3限	教室名	4校舎301
担 当 教 員	矢部洋子	実務経験と その関連資格	和歌山県、兵庫県の病院にて、耳鼻咽喉科、小児科発達外来、リハビリテーション科などで聴覚障害、言語発達障害、失語・高次脳機能障害等の言語聴覚療法に従事			
《授業科目における学習内容》						
言語発達に関連する知的障害および発達障害について理解を深める						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験の得点が60%以上をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
医歯薬出版「最新言語聴覚学講座Ⅱ 言語発達障害学」						
《授業外における学習方法》						
授業内容に該当するテキストを読み、理解を深めること。						
《履修に当たっての留意点》						
各障害ごとに小テストを実施します。発達障害を理解し、発達障害の子どものようすをイメージできるようになりましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	代表的な発達障害の定義と、それぞれの障害特性を概説できる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読む しておくこと	
		各コマにおける授業予定	発達障害の概要:5つの障害(知的・SLI・ASD・LD・ADHD)の特徴を学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的障害の定義・原因と、最新の診断基準(DSM/ICD)を説明できる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読む しておくこと	
		各コマにおける授業予定	DSM-V、ICD10における知的障害の分類、原因疾患(ダウン症、ウイリアムズ症候群など)を学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的障害における言語・認知・音韻発達の特性を詳述できる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読む しておくこと	
		各コマにおける授業予定	発達全体、認知領域、言語領域、音韻領域それぞれの発達特徴について学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的障害の評価法(LCスケール等)と支援のあり方を理解する。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	1回~4回の復習	
		各コマにおける授業予定	発達評価、知能評価、言語評価の概要、LCスケールの詳細説明指導について学ぶ *最期に小テストを実施			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	SLI(特異的言語発達障害)の定義と医学的背景を説明できる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読む しておくこと	
		各コマにおける授業予定	SLIの基礎:DSM-Vに基づく診断基準と原因・併存症を学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	SLIのコミュニケーション特徴を理解し説明できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	SLIの特性:言語およびコミュニケーション障害の具体的特徴		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	音韻メモリやナラティブの評価法を用い、SLIの状態を把握できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	SLIの評価:音韻メモリとナラティブ(語り)のアセスメントを学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	SLI児に対する具体的な支援課題と将来の展望を提示できる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	5回～8回の復習
		各コマにおける授業予定	SLIの支援、課題、展望について学ぶ *最後に小テストを実施		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	ASD(自閉スペクトラム症)の定義と関連疾患を正しく述べる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	DSM-V、ICD10における知的障害の定義と分類、原因疾患、関ASDの基礎:定義、原因、および関連する障害の分類を学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	ASDの認知理論(心の理論等)と他疾患との関連を考察できる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	ASDの理論:認知的背景と合併症・他障害との関連を学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ASD児の事例分析を通じ、コミュニケーションの特徴を抽出できる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	ASDの特性分析:事例検討とグループ内での特徴共有		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	各種評価尺度(CARS, PEP, ADOS等)の概要を説明できる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	ASDの評価:各アセスメントツール(CARS, PEP, ADOS, M-CHAT)を学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	ABAやTEACCH等の支援原理を理解し、その有効性を説明できる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	発達理論、応用行動分析理論に基づくアプローチ方法、TEACCHプログラム:DVD『教師のためのTEACCHプログラム～米国・ノースカロライナ州にみる自閉症治療教育』から学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	ASD児の事例について、TEACCHプログラムに則したアプローチ法を選択し、具体的な指導法を考案できる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	9回～14回の復習
		各コマにおける授業予定	ASDの支援:事例に基づく指導案の考案と発表(※小テスト実施)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	LD(学習障害)の医学的・教育的定義の違いを明確に説明できる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	LDの基礎:医学・教育における定義、原因、出現頻度を学ぶ		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	LDの読み書き困難における言語差と、背景にある認知特性を説明できる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	LDの特性:日本語・英語の特徴と認知機能の関連を学ぶ		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	LDの各種評価法(DTVP, ROCFT等)を理解し、具体的な支援法を提示できる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	LDの評価と支援:症状に合わせたアセスメント(DTVP, ROCFT, STRAW-R, LCSA)と具体的な支援技法を学ぶ		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	LD当事者の体験談を通じ、障害の全体像と心理的影響を考察できる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	当事者の視点:LD当事者による講演動画の視聴と考察を行う		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	計算障害(算数障害)の背景理論と評価・支援のあり方を理解する。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	15回～19回の復習
		各コマにおける授業予定	算数障害:数概念の発達、評価と支援の実際(※小テスト実施)		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADHD(注意欠如・多動症)の定義、診断基準、神経心理学的背景を述べる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	ADHDの基礎:DSM-5による診断基準、主な症状と神経心理学		
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADHDの行動評価と、薬物療法・心理社会的支援の役割を説明できる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	ADHDの評価と支援:行動・注意機能の評価と多角的アプローチを学ぶ		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADHDの症例検討を通じ、個別のニーズに応じた支援案を考察できる。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	20回～22回の復習
		各コマにおける授業予定	事例検討:ADHD児の症例提示と支援アプローチの検討(※小テスト)		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	5つの発達障害を横断的に理解し、総合的な知識を習得する。	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	過去の小テスト、講義資料の復習
		各コマにおける授業予定	総括:発達障害(5つの主要障害)の振り返りとまとめを行う		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第31回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第32回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第33回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第34回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第35回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			